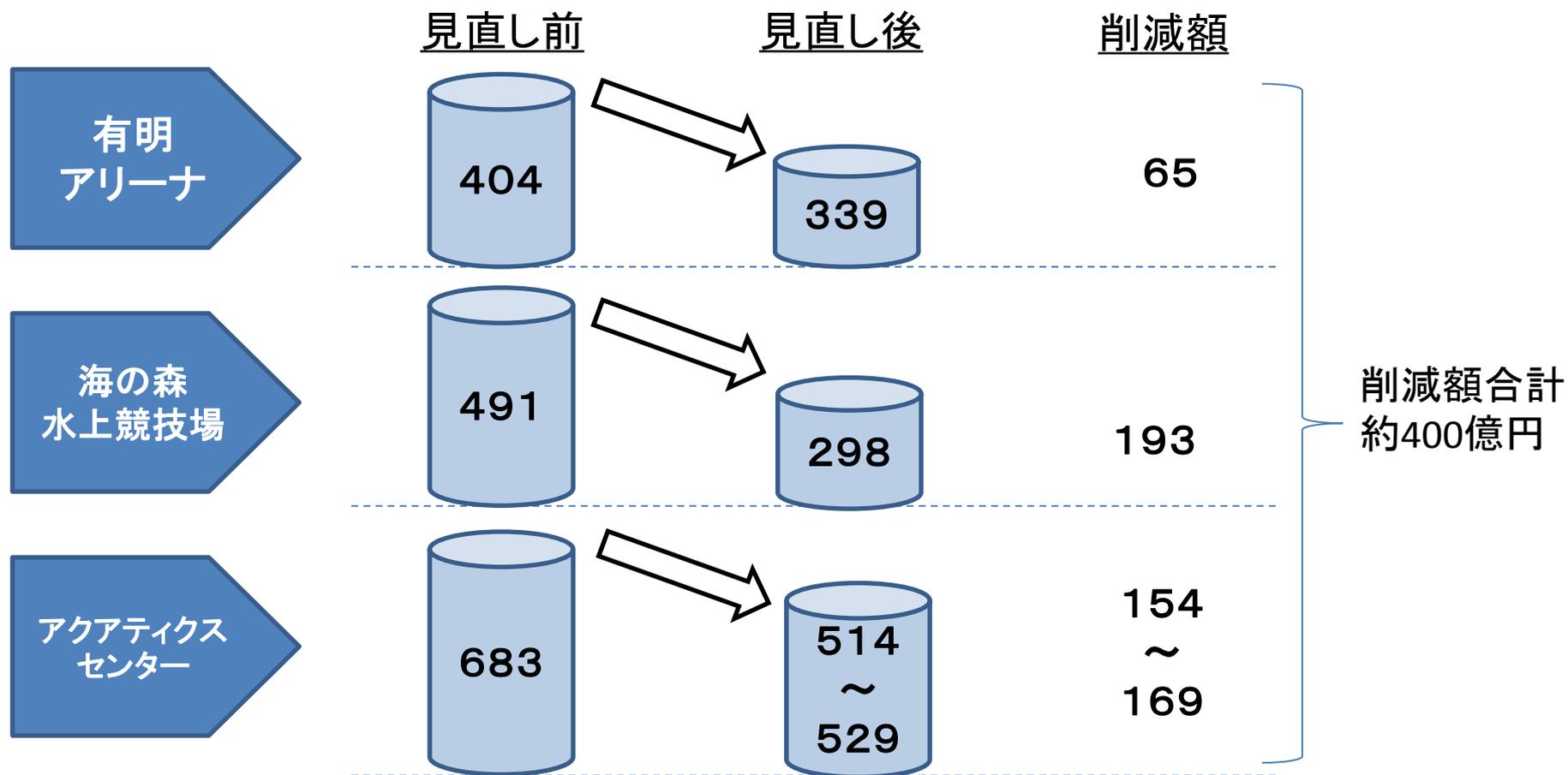


東京2020大会
会場見直しについて

バレーボール会場について

1. 会場見直しの成果と将来への投資

- 3施設の整備費について、ワイズスペンディングの観点から約400億円を削減
- 今後、環境性能の確保など将来への投資も実施



※ 単位: 億円

2. 3つの視点

- 点（施設）から面（地域）へ
- コストから将来への投資へ
- 官から民へ

3. 有明アリーナ地域全体の将来イメージ “ARIAKE LEGACY AREA”～SPORTS & EVENTS～



4. 民間の力を活用した有明アリーナの運営

東京の新たなスポーツ・文化の拠点

- ARIAKE LEGACY AREAのランドマークとなる施設
- 地域の賑わいと発展に貢献

○民間事業者の創意工夫を最大限生かした施設運営

⇒コンセッション方式の導入に向けた検討

(検討の視点)

- ・民間事業者の創意工夫を生かせるスキームの構築
- ・民間事業者による追加投資(大会後のニーズに柔軟に対応)
- ・都民負担の縮減(ワイズスペンディング)
- ・地域の活性化への貢献(ARIAKE LEGACY AREA)

スポーツ、エンターテインメントのレガシーを効果的に実現